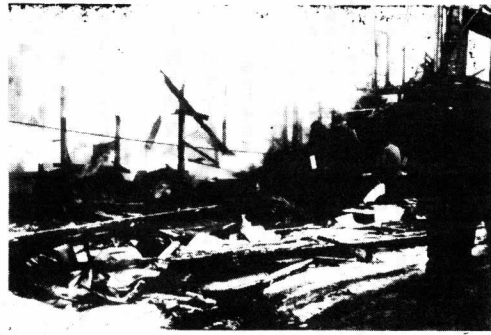


避難口の除雪が大事

冬の火災予防心得

この冬に入ってから、鷹巣町で火災事故がすでに八件になっています。冬期間において火事で焼死した人が限内で一月中に三名ありました。



火災現場の惨状

県厚生部では各市町村に
対し今後焼死者を減らす
火災事故が増加するものと憂
慮されていますので、防火対策
について一般家庭に次のこと
を実施し、火災おびが人
命事故防止に強く協力しだ
さるよう町連が呼びかけまし
たので、町民みなさんのひと
りひとりの心構えで、火事
を町から一掃しましょう。

一、火を使用する設備
器具について

- 1、燃えるものから火災予
防上安全な距離を保つよ
うにすること。
- 2、周囲に常に整理清掃に
努めること。
- 3、不燃性の床、または台
上を使用すること。
- 4、故障し、または破損し
たものは使用しないこと
5、ストーブなどに付属せ
る煙突の取付けを完全に

二、日常注意する事項

- 1、就寝時または外出の時
きは、その日の火を使
った箇所（とくに風呂場
炊事場、ガス栓、電気器
具のスイッチ）などは必
ず点検して安全を確認す
ること。
- 2、煙、くん煙などの臭気
には常に注意し、疑わし
いときは、そのものを
調べてみる。
- 3、酒によっての寝たばこ
煙ばたのうたた寝、コタ
ツのなかで寝るとはや

好評だったあみ物講座

七日市地区の公民館分館で行なわれていたあみ物講座は、1月7日から1ヵ月間、日曜を除く毎日開かれ、若い娘さんや主婦たちから好評をばくした。この講座は3年前から続けられ、昨年までは3ヵ月行なわれ、すでに100名ほどの受講生が家庭内に実技を修得して帰っている。

ろに就寝するようにする
こと。
7、老人、子ども、病人だ
け、るすさせないように
すること。
三、火災が発生したと
き

- 1、火事だと知ったときは
パケツ、洗面器などをた
たいて家人に知らせ、逃
げておくれする者がなく
うにすること。
- 2、初期消火できないとき
は、火事おぼれして近所
に知らせ、人を集めるよ
うにすること。
- 3、消防機関に対する通報
（写真11頁の火災現場
（写真12頁の火災現場）

ご協力に感謝

北海道冷害などにおくる

先号で、赤い羽根共同募
金に報告されたが芳志士
に報告されたが芳志士、こ
ろ、共募に引き継がれた
う十二月に行なわれまし
「歳末たすけあい運動」の
もついで終了しましたの
で報告いたします。

昭和三十九年度
歳末たすけあい募金取
り入れの部（地区別）

酒果 一〇五、三三九円
栄子 二一、八三〇円
二九、一三〇円

支出の部
北海道冷害救済金
四、〇〇〇円

物価の値上りが目だつ

町長室でとりまとめた酒果・四割の差があります。こ
れは、諸物価の値上りが
大きく影響しています。

項目別で白米・四割
小豆類は平均一四・二割
肉類は三・八割、白米三
三・三割、魚類は二・九
割、キムチなどは高
騰し、豆腐三・三割、理
髪代三・四割と前月より
値上りしています。

また、下落したものは、
大根、ホウキ、干しあん、
ホウキ、りんご、みかん、
薪、男ズボン、脱脂綿など
の傾向があります。

（注）この調査指数は町
で委嘱した五人の調査員が
店頭小売価格の調査結果
目、畜産品、野菜十七、
鮮魚介類二十、塩干物八
調味料十五、果物類八

共同納税相談所の開設

ことし所得税、個人事業
明書が送付されます。

①共同の納税相談会場に
は、税務署、財務事務所、
役場の職員が派遣され、受
付場所がわかりやすいに
分して設置されています。

②いろいろな控除を受け
たい人は、次の点を注意し
てください。

③給与所得者が申告する
場合は、源泉徴収票が必要
です。早目に関係先か
らもらって、お忘れなく
申告してください。相談
日にお忘れなく相談にお
いでください。

ほくをお忘れなく

日を過ぎると
日をお忘れなく
期特典がなくなり
ますよ

簡易保険センター
をお忘れなく

この機会に、皆さんのゆ
たかなからの設計に、郵
便局の簡易保険にお加えに
たつてはかがかたつては

簡易保険センター を利用しましょう

レクリエーション部に
ついては、利用当日入
場券を求めればよいの
ですが、個室、小広間
の貸切りおよび泊泊部
については、一週間前
までに郵便局または直
接センターへ予約申し
込ませていただきます。
この機会に、皆さんのゆ
たかなからの設計に、郵
便局の簡易保険にお加えに
たつてはかがかたつては

ストーブは いつも 手入れを

「ねえーわたしもたまにはきれいにしてくれないと……事故のもとよ」

物価指数一覽表

昭和40年1月25日現在

種別	区分	総合平均	食料品	主食品	畜産品	野菜	漁魚介	塩干物	調味	食肉類	果実類	衣料品	燃料品	雑品
前月		139.3	147.5	110.2	128.2	117.9	212.2	165.5	117.8	106.4	123.7	126.1	132.0	
今月		143.5	155.6	113.0	135.8	126.5	247.1	162.5	121.6	105.7	123.0	126.7	132.2	
前年同月		131.1	133.1	115.4	129.4	114.1	158.9	149.5	122.0	100.2	127.9	125.9	123.2	
前月比		4.2	8.1	2.8	7.6	8.6	34.9	-3.0	3.8	-0.7	0.7	0.6		

ゆたかなくらし し保険で計画

郵政省では、三月末日新
「新生活設計簡易保険新
加入運動」を全国的に展開
しての運動は、大蔵省、自
治省など多く機関から後
援、協賛を得て実施するも
とです。この運動は、「簡
易保険への加入をひろくす
すめ、個人生活の合理化、
計画的な安定を、健全な家
計を確立し、もって国民経
済生活の安定と幸福の増
進に寄与すること」にあ
ります。

簡易保険は、昨年四月に
保険金最高額を百万円へ引
上げ、特別老齢保険（愛称
クロバード）の創設を
みました。さらにことし
一月からは、(配当)の
大幅な増額を実施したの
ため、ますます利用価値
のある有利な保険となりま
した。

この機会に、皆さんのゆ
たかなからの設計に、郵
便局の簡易保険にお加えに
たつてはかがかたつては